

2024年度(第39期)事業計画

自 2024年 4月 1日

至 2025年 3月 31日

I 事業方針

本協会の設立目的は、我が国におけるゴルフの健全な普及と振興を図り、もって国民体力の向上、社会・文化の発展並びに国際親善に寄与することである。

今年度の重点事業方針は次のとおりとする。

1. ゴルフ振興推進本部を中心に、各地区ゴルフ連盟やプロ団体並びにゴルフ関連団体、更にはスポーツ庁や地方自治体との協力のもと、新規ゴルファーの拡大、既存ゴルファーの活性化、女性ゴルファーを増やすための施策などのゴルフ振興策に取り組むとともに、ゴルフを通じて国民の幸福と健康維持増進に寄与し、広く社会に貢献する。
2. ゴルフ振興を通じゴルフやゴルフ場のイメージアップを図り、ゴルフ振興議員連盟やスポーツ庁と協力し、国家公務員倫理規程の改訂やゴルフ場利用税問題に継続して取り組む。
3. ゴルフ規則の普及のため、ルールセミナー、講習会の実施、規則に関する情報の発信、競技運営者、レフェリーの育成に取り組む。
4. ハンディキャップインデックスの普及と正しい運用に努め、幅広いゴルファーがゴルフを楽しめる機会を創出する。
5. コースレーティングシステムの正しい運用に努め、適切なコース査定の実施とコースレーティング査定員の育成を行っていく。
6. 新しい競技運営システムとホームページを導入し、アマチュア競技、ナショナルオープンをはじめとする競技情報やハンディキャップ、ジュニア育成に関する事業などをウェブページや動画、SNSにより広く国民に広報し、当協会が取り組むゴルフ振興策への理解浸透を図るとともに、システム運営費のコストダウンを実施する。
7. 日本ゴルフ界の発展に貢献された先人の功績を末永く称えるため日本プロゴルフ殿堂とともに日本ゴルフ殿堂の設立に向けた準備を行う。
8. 日本ゴルフの歴史や文化を継承していくために、今後のJGAゴルフミュージアムのあり方を検討する。
9. 世界で活躍できる選手を輩出するため、スポーツ庁が策定した「持続可能な国際競技力向上プラン」に即した強化プログラムを充実させるとともに、指導者育成プログラムをプロゴルフ団体と連携して構築し、アマ、プロ一貫した育成強化ができる体制を目指す。また、ナショナルチームの更なる強化を目指すと同時に、JOCやプロゴルフ団体とともに、2024パリ五輪に向けた準備、選手強化に取り組む。これらの目的達成のために寄付金を含む資金調達を継続して行うとともに、育成強化事業の収益化を目指す。
10. 主催するナショナルオープン競技・アマチュア競技においては、ナショナル選手権に相応しい競技の運営と環境を整え、更なる発展とその価値の向上に努める。
11. JGA創立100周年に際し、ナショナルオープン会場のJGAパビリオンにおいて記念展示を企画するほか、記念ロゴを使用したグッズ制作販売、当協会の100年の歩みや日本ゴルフの歴史を紹介するウェブページを新たに開設する。
12. スポーツ庁が発行した「中央競技団体向けスポーツ団体ガバナンスコード」の内容に沿った組織改革強化を図るとともに、中期経営戦略に基づき、安定した財政基盤の確立のために、特に自力で収入増を図るための戦略を強化し、実施する。

II 事業内容

[1]普及事業

1. ゴルフ振興・普及のための活動
 - (1) ゴルフ振興推進本部を中心に、新規ゴルファーの創造、既存ゴルファー活性化、ゴルフを取り巻く環境の整備のための施策を講じ、ゴルフ振興・普及における旗振りを行う。
 - (2) 国内ゴルフ場来場者数など、ゴルフ界の現状を知るためのデータ収集を行う。またゴルフの普及・振興に関わる情報発信を行う。

- (3) ゴルフを通じて国民の幸福と健康維持増進に寄与し、広く社会に貢献する。健康維持増進の為に「生涯スポーツ」「国民スポーツ」としてのゴルフを社会に認知させ、広く普及させる。
 - (4) R&A が提唱する女性ゴルフ憲章に基づき、女性や家族が楽しめるスポーツの施策に取り組んでいく。
 - (5) ゴルフ振興のため、国家公務員倫理規程の改定及びゴルフ場利用税問題に取り組み、ゴルフが健全なスポーツとして認知されるようにイメージアップに取り組む。
2. ゴルフ規則の普及
 - (1) ルールセミナー、講習会等を開催、ソーシャルメディアその他の媒体を利用しゴルフ規則の普及を行う。
 - (2) ゴルフ規則に関する情報の共有、勉強会の開催等により各競技団体と連携し、ゴルフ規則に基づく競技運営の普及を行う。
 3. ゴルフ規則に関する質疑の審査・裁定
 - (1) ゴルフ規則(アマチュア資格規則、用具の規則を含む)に関する質疑に対して回答または裁定を行う。
 - (2) アマチュア資格復帰申請に対して審査・裁定を行う。
 - (3) ゴルフ用具について、R&A 用具審査手続が円滑に行なわれるよう R&A と国内メーカーとの連絡を支援し、R&A の日本国内での活動を援助する。
 4. セミナーの開催及び講師派遣
 - (1) JGA ルールテストの開催、勉強会の開催、海外スクールへの派遣等によりレフェリーの発掘、育成を行う。
 - (2) R&A のゴルフ規則委員会、アマチュア資格委員会、エキップメントスタンダード委員会にアドバイザーメンバーを派遣し、提案・調査・研究を行う。
 5. アンチ・ドーピング事業
 - (1) 各関連団体と連携し、アンチ・ドーピングに関する情報発信と普及・教育啓発に努める。
 - (2) アンチ・ドーピング活動の一環として(公財)日本アンチ・ドーピング機構(JADA)と連携し、日本アマチュアゴルフ選手権競技、日本女子アマチュアゴルフ選手権競技、日本オープンゴルフ選手権競技および日本女子オープンゴルフ選手権競技においてドーピング検査を実施する。
 - (3) 「JGA アンチ・ドーピングガイド」を製作し、ジュニア層を中心に情報提供を行う。
 - (4) アンチ・ドーピングの理念を十分に理解し、将来的にスポーツの価値を社会で体现していくアスリートの育成を目指す。
 6. ハンディキャップに関する事業
 - (1) ハンディキャップインデックスを活用したゴルフの楽しみ方の理解向上を図るとともにハンディキャップインデックスの取得を促すよう普及・啓蒙活動を行う。
 - (2) ハンディキャップインデックスを使用する大会を充実させる。企業、各種メディアとのタイアップ企画を充実させ、ハンディキャップインデックス普及に向けた活動に参画していただきながら、アスリート以外のゴルファーにハンディキャップの興味を促し、インデックス取得者の普及に努める。
 - (3) 各地区連盟、都道府県協会、関連団体向けにハンディキャップに関する説明会を開催し、WHS 導入後の疑問点や問題点を確認しながら、ハンディキャップに関する理解向上を図る。また、加盟倶楽部の運用がスムーズになるような、外部サービスとの連携を加速させる。
 - (4) コースレーティング査定技術向上や均一化を目的に、全国のコースレーティング査定委員を対象に研修会を行う。

- (5) JGA コースレーティング査定チームを組織し、コースレーティング査定員の継続的な人材発掘育成、コースレーティングに関する研究、コースレーティング実査定を行う。
- (6) ゴルフ界の活性化とハンディキャップの普及を目的に、(公社)日本パブリックゴルフ協会との共催による「スポーツ庁長官杯 第8回ゴルフフェスタ全国大会2024」を開催する。

7. 会員事業

各種会員数の増員と会員サービスの向上を図る。

8. ゴルフの普及啓発に関する普及事業

広報活動を通じて、ゴルフの普及・振興に寄与する。

以下の活動を行う。

- (1) ゴルフの普及啓発のため、各種媒体を活用して情報を発信する。
- (2) ホームページを刷新し、時代に沿った機能を付与しユーザビリティを高める。また、SNSにおいて、ナショナルチームの活動や競技情報、ゴルフ規則やゴルフ関連のニュース等、ゴルフに関する幅広い情報を掲載し、広く一般に情報提供を行う。
- (3) JGA 並びに各地区ゴルフ連盟、ゴルフ関連団体が取り組むゴルフ振興活動を紹介し、「ゴルフと健康」、「女性とゴルフ」に関する情報を掲載する「JGA ゴルフ応援サイト」の運営を行う。
- (4) JGA 創立 100 周年に向けて日本ゴルフと JGA の歴史を紹介するウェブサイト「Golfpedia」を開設、運営する。
- (5) パリオリンピック 2024・ゴルフ競技の情報を発信し、オリンピック・ムーブメントの向上に寄与する。

9. ゴルフミュージアム事業

ゴルフに関する収蔵品の展示、書籍・資料などの収集と保管により、日本におけるゴルフ文化の発展に貢献する。

以下の活動を行う。

- (1) JGA ゴルフミュージアムで収蔵品を展示公開する。
- (2) 事務所に設置した「撰津茂和コレクション」等の書籍を閲覧に供する。
- (3) 収集書籍の整理と分類、また写真のデジタル化に取り組む。
- (4) JGA 創立 100 周年に際し、ナショナルオープンなどで展開する JGA パビリオンでのミュージアム所蔵品の展示を企画・検討する。
- (5) 日本ゴルフ殿堂との協力を視野に入れ、新たな顕彰制度について協議するとともに、日本ゴルフの歴史を伝えるためにより良いゴルフミュージアムのあり方を検討する。

[2]育成事業

1. ジュニア普及、発掘育成、強化事業

世界で活躍できる人材を輩出するための一貫育成強化システムに基づき、男女プロゴルフ団体やゴルフ関連団体と協力して、以下の事業を実施する。

(1) 普及事業

- ① 日本プロゴルフ協会、日本女子プロゴルフ協会、日本ゴルフツアー機構、全日本ゴルフ練習場連盟、日本パブリックゴルフ協会、日本高等学校・中学校ゴルフ連盟と連携し、ジュニアへのゴルフ普及に必要な施策を検討する。
- ② JGA ジュニアスクールを各地区ゴルフ連盟、都道府県ゴルフ競技団体で開催し、エチケットやマナーの教育を行う。
- ③ 各地区ゴルフ連盟や自治体などが実施しているジュニア育成事業についての調査を行い、課題や要望を把握し、今後のジュニア普及事業の計画立案の基礎資料とする。

- (2) 発掘育成事業
 - ① 地区ゴルフ連盟認定選手のゴルフパフォーマンス向上のためのカリキュラムを提供し支援する。
- (3) 強化事業
 - ① スポーツ庁が提唱する「持続可能な国際競技力向上プラン」に基づき、強化プログラムを展開する。この取り組みでは、アスリートの発見、育成、そして強化を一貫して実施できるよう、日本版 FTEM モデルを活用し、アスリート育成パスウェイを構築し、推進していくことを目指す。
 - ② JGA 認定選手のパフォーマンス向上に必要な様々な要素（技術、メンタル、フィジカル、栄養など）において、スポーツ医学の専門家チームを組織しサポートを実施する。
 - ③ パリオリンピックに向けて、プロゴルファーとの友好関係を構築し、強化プログラムを提供し、サポートを実施する。
 - ④ 新たな指導者ライセンス制度のカリキュラムを日本プロゴルフ協会、日本女子プロゴルフ協会、日本スポーツ協会との連携を基に構築する。
- (4) 日本代表支援寄附金・協賛金事業
 - ① 海外メジャーに出場するアマチュア選手に対して、支援金を支給する。
 - ② 各地区強化プログラム対象の指導者を養成する。
 - ③ オリンピック指定強化選手へのサポートを実施する。
 - ④ JGA 選手強化事業を積極的に国内外へ発信する。
 - ⑤ パリオリンピックの選手団のサポートを実施する。

2. 指導者育成事業

ゴルフの普及・発展を目指し、国民スポーツ大会候補選手の育成に従事する者を養成するため、(公財)日本スポーツ協会の「公認スポーツ指導者制度」において独自の養成講習会を企画及び実施し、各都道府県における競技者の指導・強化体制を充実させていく。

[3]全国的各種選手権競技の開催及び後援事業

1. アマチュア競技事業

以下の活動を行う。

- (1) 主催競技の運営、管理。
- (2) 主催競技日程の編成、開催コースの決定、競技規定の作成。
- (3) 以下のアマチュアゴルフ選手権競技を実施する。

① 第 65 回日本女子アマチュアゴルフ選手権競技

6 月 11 日(火)～14 日(金) 予定参加選手 140 人

我孫子ゴルフ倶楽部

東日本予選 5 月 28 日(火) 予定参加選手 120 人

アスレチックガーデンゴルフ倶楽部

西日本予選 5 月 28 日(火) 予定参加選手 120 人

有馬ロイヤルゴルフクラブ ノーブルコース

② 第 108 回日本アマチュアゴルフ選手権競技

6 月 25 日(火)～6 月 28 日(金) 予定参加選手 140 人

廣野ゴルフ倶楽部

東日本予選 6 月 11 日(火) 予定参加選手 120 人

浜野ゴルフクラブ

西日本予選 6 月 11 日(火) 予定参加選手 120 人

岐阜関カントリークラブ 東コース

- ③ 第29回日本ジュニアゴルフ選手権競技
8月14日(水)～16日(金) 予定参加選手 360人
(男子)15-17歳の部、(女子)15-17歳の部 霞ヶ関カンツリー倶楽部
(男子)12-14歳の部、(女子)12-14歳の部 武蔵カントリークラブ 豊岡コース
- ④ 第77回日本学生ゴルフ選手権競技
8月20日(火)～23日(金) 予定参加選手 98人
加古川ゴルフ倶楽部
- ⑤ 第60回日本女子学生ゴルフ選手権競技
8月21日(水)～23日(金) 予定参加選手 48人
加古川ゴルフ倶楽部
- ⑥ 第17回全国小学生ゴルフ大会
9月16日(月) 予定参加選手 100人
森永高滝カントリー倶楽部
- ⑦ 第45回日本シニアゴルフ選手権競技
10月23日(水)～25日(金) 予定参加選手 120人
涼仙ゴルフ倶楽部
- ⑧ 第31回日本女子シニアゴルフ選手権競技
10月24日(木)～25日(金) 予定参加選手 120人
満濃ヒルズカントリークラブ
- ⑨ 第30回日本ミッドシニアゴルフ選手権競技
10月31日(木)～11月1日(金) 予定参加選手 120人
門司ゴルフ倶楽部
- ⑩ 第1回日本女子グランドシニアゴルフ選手権競技
10月31日(木)～11月1日(金) 予定参加選手 120人
武蔵カントリークラブ 笹井コース
- ⑪ 第30回日本グランドシニアゴルフ選手権競技
11月7日(木)～8日(金) 予定参加選手 120人
嵐山カントリークラブ
- ⑫ 第28回日本女子ミッドアマチュアゴルフ選手権競技
11月7日(木)～8日(金) 予定参加選手 120人
広島カンツリー倶楽部 西条コース
- ⑬ 第28回日本ミッドアマチュアゴルフ選手権競技
11月13日(水)～15日(金) 予定参加選手 120人
高室池ゴルフ倶楽部
- ⑭ 第14回JGA杯J-sysゴルフ選手権
(JGAアンダーハンディキャップ競技)
11月27日(水) 予定参加選手 128人
霞ヶ関カンツリー倶楽部 東コース

- ⑮ 日本スポーツマスターズ 2024 長崎大会 ゴルフ競技
 9月18日(水)～20日(金)
 (男子) 長崎国際ゴルフ倶楽部
 (女子) 大村湾カントリー倶楽部 NEW コース

- ⑯ 第78回国民スポーツ大会 佐賀県 ゴルフ競技
 10月5日(土)～7日(月)
 (成年男子) 若木ゴルフ倶楽部
 (少年男子) 武雄ゴルフ倶楽部
 (女子) 武雄・嬉野カントリークラブ

2. オープン競技事業

以下の活動を行う。

- (1) 主催オープン競技日程の編成、開催コースの決定、競技規定の作成。
 (2) 主催オープン競技の運営、管理。
 (3) 以下のオープンゴルフ選手権競技を実施する。

- ① 第34回日本シニアオープンゴルフ選手権競技
 9月12日(木)～15日(日) 予定参加選手 126人
 千葉カントリークラブ 川間コース
- | | | |
|--------|----------|------------------|
| 地区予選 A | 7月18日(木) | 芳賀カントリークラブ南・西コース |
| 地区予選 B | 7月12日(金) | 嵐山カントリークラブ |
| 地区予選 C | 6月17日(月) | 飯能ゴルフクラブ |
| 地区予選 D | 5月30日(木) | 芦原ゴルフクラブ 海コース |
| 地区予選 E | 7月1日(月) | 南山カントリークラブ |
| 地区予選 F | 6月17日(月) | 三木ゴルフ倶楽部 |
| 地区予選 G | 6月18日(火) | 玄海ゴルフクラブ |
| 最終予選 A | 8月19日(月) | 船橋カントリークラブ |
| 最終予選 B | 8月19日(月) | 大山ゴルフクラブ |

- ② 第57回日本女子オープンゴルフ選手権競技
 9月26日(木)～9月29日(日) 予定参加選手 120人
 大和カントリークラブ 西コース
- | | | |
|--------|---------------------|------------------|
| 地区予選 A | 6月24日(月) | 東松苑ゴルフ倶楽部 |
| 地区予選 B | 6月24日(月) | 我孫子ゴルフ倶楽部 |
| 地区予選 C | 7月1日(月) | 富士カントリークラブ |
| 地区予選 D | 7月9日(火) | 伊勢カントリークラブ |
| 地区予選 E | 7月29日(月) | 三甲ゴルフ倶楽部 ジャパンコース |
| 地区予選 F | 6月3日(月) | 佐賀クラシックゴルフ倶楽部 |
| 最終予選 A | 8月26日(月)
～27日(火) | 鷹之台カンツリー倶楽部 |
| 最終予選 B | 8月26日(月)
～27日(火) | 小野ゴルフ倶楽部 |

- ③ 第89回日本オープンゴルフ選手権競技
 10月10日(木)～13日(日) 予定参加選手 120人
 東京ゴルフ倶楽部
- | | | |
|--------|----------|-----------------------|
| 地区予選 A | 7月4日(木) | 烏山城カントリークラブ 本丸・三の丸コース |
| 地区予選 B | 6月5日(水) | 大洗ゴルフ倶楽部 |
| 地区予選 C | 5月20日(月) | 狭山ゴルフ・クラブ 西・東コース |

地区予選 D	6月18日(火)	姉ヶ崎カントリー倶楽部	東コース
地区予選 E	6月3日(月)	桑名カントリー倶楽部	
地区予選 F	6月3日(月)	タラオカントリークラブ	西コース
地区予選 G	7月9日(火)	下関ゴルフ倶楽部	
地区予選 H	7月31日(水)	福岡雷山ゴルフ倶楽部	
最終予選 A	9月2日(月) ～3日(火)	龍ヶ崎カントリー倶楽部	
最終予選 B	9月2日(月) ～3日(火)	六甲国際ゴルフ倶楽部	東コース

- ④ 第124回全米オープンゴルフ選手権
 ファイナルクォリファイニング(USGA 委託事業)
 主催：全米ゴルフ協会(USGA) 主管：日本ゴルフ協会
 5月20日(月) 日野ゴルフ倶楽部 キングコース 予定参加選手 50人
- ⑤ 第79回全米女子オープンゴルフ選手権
 クォリファイニング(USGA 委託事業)
 主催：全米ゴルフ協会(USGA) 主管：日本ゴルフ協会
 4月22日(月) 房総カントリークラブ 房総ゴルフ場
 東西コース 予定参加選手 132人

[4]国際交流事業

1. 国際選手権競技への選手団派遣
 国際選手権競技への参加を通じ、技術向上と国際親善に貢献する。
 本年は、以下の国際競技に派遣する。

国際派遣競技

- ① 第20回ネイバーズトロフィーチーム選手権
 開催日 4月23日(火)～26日(金)
 開催国 韓国
 開催クラブ 未定
 派遣 キャプテン・コーチ・男子選手4名・女子選手4名
- ② 第30回ノムラカップアジア太平洋アマチュアゴルフチーム選手権
 開催日 未定
 開催国 未定
 開催クラブ 未定
 派遣 代表1名・キャプテン・コーチ・選手3名
- ③ 第11回スピリットインターナショナルアマチュアゴルフ選手権
 開催日 11月13日(水)～16日(土)
 開催国 米国
 開催クラブ Whispering Pines GC
 派遣 キャプテン・選手4名
- ④ APGC シニア選手権
 開催日 未定
 開催国 未定
 開催クラブ 未定
 派遣 男子選手5名程度、女子選手6名程度

ジュニア派遣競技

① APGC ジュニア選手権

開催日 未定
開催国 未定
開催クラブ 未定
派遣 キャプテン・男子選手2名・女子選手2名

② ジュニアオープン

開催日 7月15日(月)～7月17日(水)
開催国 スコットランド
開催クラブ Kilmarnock(Barassie)
派遣 同行者1名・男子選手1名・女子選手1名

2. 国際会議・大会への人材派遣

国際会議に役員・委員を派遣し、海外の協会・連盟との関係を保ち国際交流事業を幅広く行う。

本年は、以下の国際会議等に派遣する。

国際会議・レフェリー派遣

① マスターズ・トーナメント

開催日 4月11日(木)～14日(日)
開催国 米国・ジョージア州
開催場所 Augusta National
派遣 代表1名・同行者1名

② 第20回ネイバーズトロフィーチーム選手権

開催日 4月23日(火)～26日(金)
開催国 韓国
開催場所 未定
派遣 レフェリー1名

③ 全米女子オープンゴルフ選手権

開催日 5月30日(木)～6月2日(日)
開催国 米国・ペンシルベニア州
開催場所 Lancaster CC
派遣 代表1名・レフェリー1名

④ 全米オープンゴルフ選手権

開催日 6月13日(木)～16日(日)
開催国 米国・ノースカロライナ州
開催場所 Pinehurst Resort & CC(course No.2)
派遣 代表1名・レフェリー1名

⑤ 全英オープンゴルフ選手権

開催日 7月18日(木)～21日(日)
開催国 スコットランド
開催場所 Royal Troon
派遣 代表1名・レフェリー1名

- ⑥ パリオリンピック（男子競技）
 開催日 8月1日(木)～4日(日)
 開催国 フランス
 開催場所 Le Golf National
 派遣 未定
- ⑦ パリオリンピック（女子競技）
 開催日 8月7日(水)～10日(土)
 開催国 フランス
 開催場所 Le Golf National
 派遣 未定
- ⑧ APGC シニア選手権
 開催日 未定
 開催国 未定
 開催場所 未定
 派遣 未定
- ⑨ アジア・パシフィックアマチュア選手権
 開催日 10月3日(木)～6日(日)
 開催国 日本
 開催場所 太平洋クラブ御殿場コース
 派遣 レフェリー2名
- ⑩ アジア・パシフィック女子アマチュア選手権
 開催日 未定
 開催国 未定
 開催場所 未定
 派遣 レフェリー1名
- ⑪ IGF（国際ゴルフ連盟）理事国会議・総会
 開催日 未定
 開催国 未定
 開催場所 未定
 派遣 代表1名
- ⑫ APGC（アジア太平洋ゴルフ連盟）理事国会議・総会
 開催日 未定
 開催国 未定
 開催場所 未定
 派遣 未定
- ⑬ USGA（全米ゴルフ協会）年次総会
 開催日 未定
 開催国 未定
 開催場所 未定
 派遣 代表1名
- ⑭ R&A 規則委員会
 開催日 6月、11月、2月

開 催 国 英国
開 催 場 所 未定
派 遣 代表 1 名

⑮ R&A アマチュア資格委員会
開 催 日 6 月、11 月、2 月
開 催 国 英国
開 催 場 所 未定
派 遣 代表 1 名

⑯ R&A 用具委員会
開 催 日 4 月、8 月、11 月、2 月
開 催 国 英国
開 催 場 所 未定
派 遣 代表 1 名

⑰ WAGR（世界アマチュアゴルフランキング）会議
開 催 日 4 月、10 月
開 催 国 英国/米国
開 催 場 所 未定
派 遣 代表 1 名

⑱ HOC（ハンディキャップ運営委員会）会議
開 催 日 10 月、3 月
開 催 国 英国/米国
開 催 場 所 未定
派 遣 代表 1 名

[5]レフェリー資格認定制度

ゴルフ競技を正しく、公平に運営するためのレフェリー制度を構築し、資格認定制度を導入するための推進プロジェクトを継続して行う。

[6]JGA 創立 100 周年事業

2024 年 10 月 17 日の当協会創立 100 周年に際し、事業方針 11 の内容に加え、式典の開催等を含むその他の事業を検討する。

[7]マーチャンダイジング事業

JGA オフィシャルグッズやオープングッズの商品開発・販売を行い、ゴルフの普及や振興に寄与する。

- (1) JGA オフィシャルグッズブランドの確立
- (2) オープン開催倶楽部と大会プロモーションマークの開発
- (3) オープングッズ商品開発・販売を開催倶楽部と連携し活動をする。
- (4) オープングッズ販売を通じ、大会広報活動と連携をする。